

工学部



I部電気工学科

要注意科目 基礎数学B

要注意科目の基礎数学Bは微積分の内容が中心である。過去問をしつかり行えば基本的に試験で高得点を取ることができる。しかし稀に過去問と全く異なった問題が出ることもあり、その場合授業中に扱った類題が出るため、普段から授業は真面目に受けるべきである。またレポートや課題が忙しく、毎週日曜日は多くの学生が徹夜で仕上げている。学業に打ち込む学生が多く、留年率が他の学科と比べて低いのが特徴であるため、勉強を通じての仲間との触れ合いなど、学生の本分を楽しむことができる。

II部電気工学科

要注意科目 複素数回路及び演習

複素交流回路及び演習は、後期の点数重視の科目となっている。前期で満点でも、後期の成績が悪いと落とされてしまうので注意が必要だ。試験では、演習内容と重複した問題が多く出るため、毎回の演習内容をきちんと理解しなければならない。また、出題傾向が一緒なので、先輩から過去問をもらおう。静電界の講師が今年度から代わるため、先輩からの過去問やノートが参考にならない可能性がある。実験レポートは二週間に一度で、課題等も出ないため試験期間さえ頑張れば時間を十分に確保できる学科である。

I部経営工学科

要注意科目 微分積分1

要注意科目の微分積分1は、毎年過去問には出てこないようなタイプの問題が1、2問出題されており、過去問だけでなくCLASSにアップされる演習問題もこなす必要がある。授業自体の出席点はないが、テストに出る問題の傾向を教えてくださいるので授業にはきちんと出席すべきである。毎週月曜日に行われる情報処理演習及び情報メディア実験は出席が非常に重要で、遅刻は厳禁である。時間に余裕のある学科ではあるが、気を緩め過ぎて大事な科目を落としてしまう学生が毎年何人もいる。勉強と遊びのメリハリをしっかりと付けることが大事である。

II部経営工学科

要注意科目 数学A

数学Aは前期後期ともに、高校の数学3の内容をきちんと理解しておくことが楽になるだろう。この授業の講師はテスト採点時、計算問題での部分点がなく正確な答えだけが点となるので注意が必要である。出題範囲は数学演習の内容からであり、演習の成績は期末試験の結果に上乗せされる。そのため、演習には必ず出席し問題の解き方にしっかりと慣れておいた方がいい。他学科のように実験等がないため、自ら他人に話しかけながら友達を作ることが大切である。工学部の中では比較的楽な学科なので、空いた時間を有意義に使うとより良い学生生活が送れるだろう。

I部建築学科

要注意科目 線形代数, 物理学1・2

要注意科目である線形代数は、授業が後半に進むにつれて内容が難しくなっていくので、初めのうちに試験で高い点数を取らなければならない。また物理学1・2に関しては両方合格しても1科目として数えられるので、どちらかの単位を修得しておけば良く、1の方が2よりも内容が簡単なので1を履修することをお勧めする。この学科は実験がないためレポートがほとんど無いが、製図や模型製作に日々追われてしまう。製図など最初は分からないことが多いので、周りの学生と相談しながら勉強することで皆が自然と仲良くなっていく。

II部建築学科

要注意科目 物理学

要注意科目である物理学は、毎回の授業に出席し單元ごとに配られたプリントを解くことが重要である。しかし、プリントの正答が配られないため、友人と答え合わせをしながら勉強していくとはかどる。工学部の物理は全学科同じ先生なので、他の学科に友人がいると試験に有利になるだろう。後期から基礎製図など課題が始まるため、前期の要領でこなしていると、他の勉強に手が回らない人が増えてくるので注意しなければならない。絵やデザインの好きな人が多いのがこの学科の特徴である。周りと協力しながら課題を計画的に消化すると、自由な時間を多く確保できる。

機械工学科

要注意科目 数学A・B・C

実験レポートなどの課題が多く定期試験が難しいため、自分なりの学習スタイルを確立するまでは苦勞する。しかし要領を掴んでしまえばそれほど苦にもならなくなり、バイトやサークル活動などに精を出す余裕も生まれてくる。要注意科目の数学Aは現在絶版となっている問題集から定期試験問題が多く出題されるため、先輩に見せてもらうとよい。数学Bの定期試験問題は授業中に解説された問題や考え方から出題される。積極的に前の席に座り授業内容の理解に努める事が重要である。地味だと思われがちだが個性豊かで、去年はミスター理科大を輩出した学科である。

工業化学科

要注意科目 無機化学1, 有機化学1, 物理化学基礎

要注意科目はそれぞれ出席点がなく、ほぼ試験のみで成績が決まる。しかし、授業をしっかりと聞いていなければわからない問題などもよく出るため出席はしたほうが良い。工業化学通論は出席がそのまま成績に関わってくる科目なので必ず出席しなければならない。実験が前期からあり、毎週レポートを提出しなければならないので他学科と比べ忙しい。試験に関しても、前期は易しいが後期は数段難しくなるため工業化学科の大変さを知ることになる。少々大変な学科ではあるが、理科大の中でも女子の比率が高くサークルに力を入れている学生も多い明るい学科である。

